



移民たちの 太平洋

—太平洋諸島をめぐる人の移動と国際制度—

International Migration in the Pacific Islands Region: Networks,
Regionalism, and Institutions

黒崎岳大・今泉慎也：編

移民たちの太平洋

——太平洋諸島をめぐる人の移動と国際制度——

黒崎岳大・今泉慎也 編
アジア経済研究所

書名：移民たちの太平洋——太平洋諸島をめぐる人の移動と国際制度——
編者：黒崎 岳大（くろさき たけひろ）・今泉 慎也（いまいずみ しんや）

本書は「クリエイティブ・コモンズ・ライセンス表示-改変禁止4.0国際」の下で提供されています。
<https://creativecommons.org/licenses/by-nd/4.0/deed.ja>



本書は、第三者の出典が表示されている箇所を除き、①出典を明示すること、②内容を改変しないことを条件に、どなたでも転載・複製・公衆送信など自由に利用できます。商用利用も可能です。出典の記載例は以下をご参照ください。

〈出典の記載例〉

出典：「移民たちの太平洋——太平洋諸島をめぐる人の移動と国際制度——」(アジア経済研究所, 2023)(該当ページの URL 表記, または該当ページ URL へのリンク)。

・第三者の権利を侵害しないようご注意ください

第三者が著作権を有しているコンテンツや、第三者が著作権以外の権利（例：写真における肖像権、パブリシティ権等）を有しているコンテンツについては、特に権利処理済であることが明示されているものを除き、利用者の責任で、当該第三者から利用の許諾を得てください。

・免責について

アジア経済研究所は、利用者が本書を用いて行う一切の行為（本書を編集・加工等した情報を利用することを含む）について何ら責任を負うものではありません。また、本書は、予告なく変更・移転・削除等が行われることがあります。

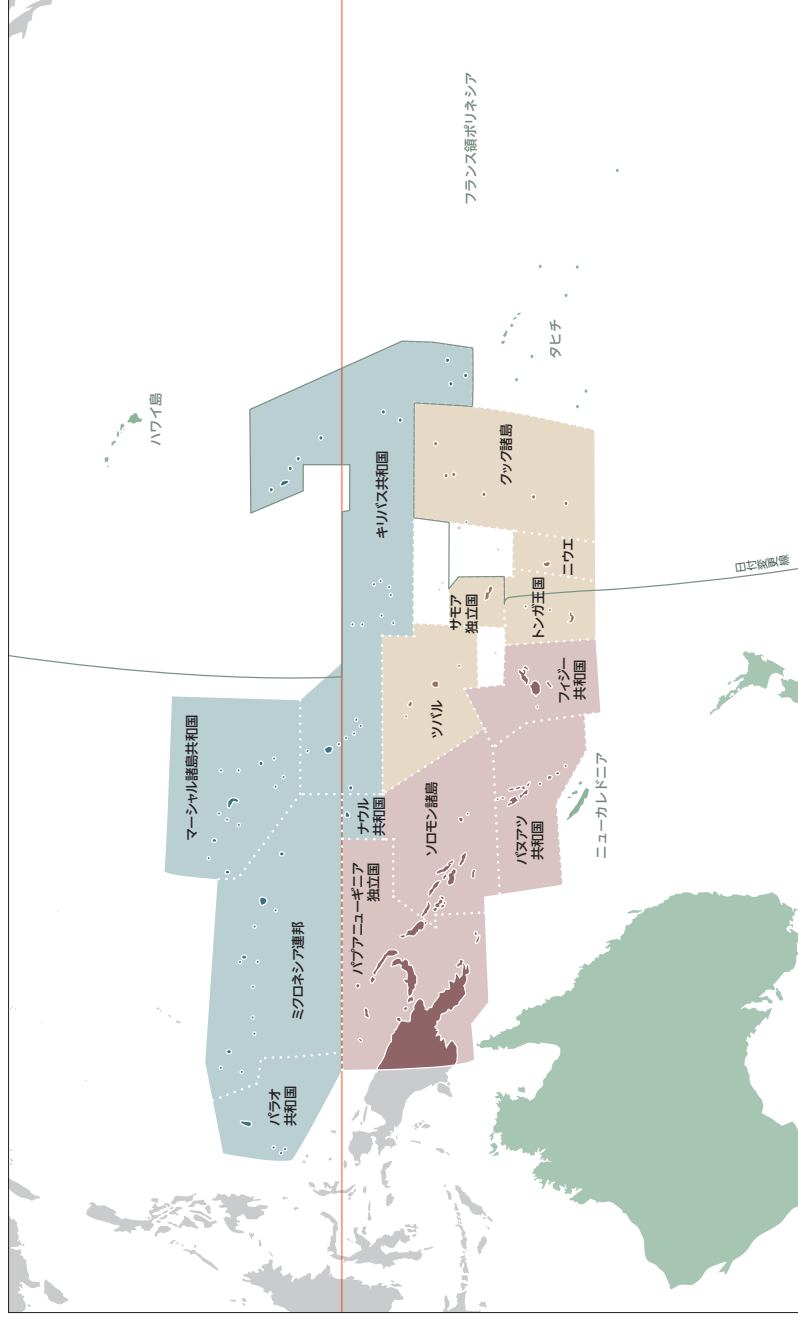
・作品利用時の連絡について

可能であれば、本書を利用された旨を下記までご連絡ください。

アジア経済研究所 学術情報センター 成果出版課

Tel : 043-299-9538 / E-mail : aib@ide.go.jp

太平洋島嶼国



(出所)『太平洋島嶼国 国旗と概要』 Pacific Islands Centre (PIC) より引用。

目次

はしがき i

口 絵 太平洋島嶼国

序 章 太平洋島嶼国における人の移動と国際制度をめぐるダイナミズム

黒崎岳大・今泉慎也 1

第1節 太平洋島嶼地域における人の移動をめぐる歴史的背景 2

1-1. 欧米諸国との接触に伴う島嶼国社会の変容

——植民地支配から独立・自治の時代—— 3

1-2. 太平洋島嶼地域内部における変容——PIFの形成と拡大—— 6

1-3. 域外国から向けられた太平洋島嶼国への新たな関心とその要因 9

1-4. 域外国からの新たな関心の高まりに伴う太平洋島嶼国の政治・経済・社会の
変化 11

第2節 太平洋島嶼地域の人々の移動に影響を与える諸要因 14

2-1. 「とどまらせる障壁としての国境」と「乗り越えるための優遇政策」 15

2-2. 太平洋島嶼国出身者による先進国への移動の誘因と限界 17

2-3. 太平洋島嶼国にやってくる人びとの思惑と現実 21

第3節 人の移動を規律する制度 23

3-1. 人の法的カテゴリー 24

3-2. 外国人の就労のための諸制度 25

3-3. 植民地主義と移住の軍事化 27

3-4. 地域主義と人の移動 28

第4節 本書の構成 29

第1章 域外国との政治交流の活発化と地域統合の変容

黒崎岳大 37

はじめに 37

第1節 2010年代の太平洋島嶼地域の地域統合をめぐる動き 40

1-1. 域外国との政治交流の活発化とPIF中心の地域統合への加速化
——2010年代前半—— 41

1-2. 各国で相次ぐ長期政権の交代とサブリージョナリズムの台頭
——2010年代後半—— 48

第2節 域外国との政治交流の活発化をめぐる各層の反応とその変化	54
2-1. 各国政治指導者	
——「地域リーダー」意識の醸成から自国の代表としての意識の欠如へ——	55
2-2. 地域国際機関官僚	
——実力をもった「地域エリート」から閉ざされた専門職利益団体へ——	57
2-3. 市民	
——島国の存在感拡大への期待から「地域エリート」に対する不信感の形成へ——	60
おわりに	65

第2章 地域としての「太平洋」

——越境労働移動をめぐる制度構築とネットワーク形成を通じて——

小柏葉子 69

はじめに 69

第1節 越境労働移動の歴史的経緯 71

 1-1. ニュージーランドへの越境労働移動 71

 1-2. オーストラリアへの越境労働移動 73

第2節 国家間の越境労働移動制度の構築 75

 2-1. 認定季節雇用者(RSE)制度 75

 2-2. 太平洋オーストラリア労働移動制度 76

 2-3. 越境労働移動制度の構築プロセス 78

第3節 越境労働者によるネットワークの形成 82

 3-1. 本国のコミュニティとのネットワーク 82

 3-2. 受入国のオールドカマーとのネットワーク 85

 3-3. 受入国における他の越境労働者とのネットワーク 86

 3-4. 受入国の地元コミュニティとのネットワーク 87

おわりに 89

第3章 多民族国家オーストラリアの太平洋島嶼移民

——ニューサウスウェールズ州ポリネシアン移民の社会経済的地位——

畝川憲之 95

はじめに 95

第1節 多民族国家オーストラリア 97

1-1. 多民族国家オーストラリアの成り立ち	97
1-2. オーストラリアの人口構成	99
第2節 太平洋島嶼移民の概要	100
2-1. 太平洋島嶼移民の歴史	100
2-2. 太平洋島嶼移民の近年の動向	105
第3節 太平洋島嶼移民の社会経済的地位	
——ニューサウスウェールズ州のポリネシアン社会の事例より——	110
3-1. 移民第1世代の社会経済的地位	110
3-2. 移民第2世代以降の社会経済的地位	115
おわりに	118

第4章 アメリカ法からみたミクロネシアの法的空間 ——未編入領土の福祉格差と平等保護——

今泉慎也 123

はじめに	123
第1節 ミクロネシアにおける人の移動——アメリカとの特別な関係を中心に——	125
第2節 未編入領土をめぐる論争	127
2-1. 「未編入領土」とは何か?	127
2-2. 「島嶼事件」再考論	130
第3節 福祉国家アメリカから取り残された島嶼地域	134
3-1. 未編入領土における公的扶助制度の格差	134
3-2. アメリカ在住のCOFA市民における公的扶助受給資格の問題	139
第4節 平等保護と文化的権利は対立するか?	142
4-1. 格差是正の基盤としての平等保護	142
4-2. 平等保護原則と文化的権利は対立するか	142
おわりに——アメリカ法からみたミクロネシアの法的空間——	145

第5章 中国からの移住先としてのトンガ王国

北原卓也 149

はじめに	149
第1節 トンガ王国と移民	150
1-1. 移民を送り出す国としてのトンガ王国	150

- 1-2. トンガにおける移民の受け入れ状況 153
- 1-3. 移民に関する法律 158
- 第2節 中国とトンガ 161
 - 2-1. 二国間関係史 161
 - 2-2. トンガ国内における中国系移民に対するイメージ 164
- 第3節 トンガで働く中国系移民 167
 - 3-1. 中国系移民とビジネス 167
 - 3-2. 多様化する中国系移民の事例 169
- おわりに——トンガにおける中国系移民の今後—— 174

第6章 ミクロネシアにおけるフィリピン人移民 ——アメリカの移民政策・移民法の影響を中心に——

知花いづみ・今泉慎也 179

- はじめに 179
- 第1節 アメリカの移民政策・移民法とフィリピン人 185
 - 1-1. 移民と非移民 185
 - 1-2. アメリカの移民政策・移民法の変遷
——フィリピン人移民の地位を中心に—— 187
- 第2節 グアムのフィリピン人 190
 - 2-1. 背景——ミクロネシアとフィリピン—— 190
 - 2-2. ゲストワーカーとしてのフィリピン人 192
 - 2-3. 法改革の影響——市民となったフィリピン人—— 194
- 第3節 北マリアナ諸島のフィリピン人 195
 - 3-1. 背景 195
 - 3-2. ゲストワーカーとしてのフィリピン人 196
 - 3-3. 法改革の影響 197
- 第4節 パラオのフィリピン人 200
 - 4-1. 背景——外国人労働者に依存するパラオ—— 200
 - 4-2. ゲストワーカーとしてのフィリピン人 202
 - 4-3. 自由連合協定との関係 207
- おわりに 210

資料 太平洋島嶼地域における人の移住の概況

今泉慎也 215

第1節 移住する太平洋島嶼地域の人びと 215

第2節 送 金 217

第3節 太平洋島嶼地域に移住してくる人びと 217

執筆者一覧

略語一覧

COFA	Compact of Free Association	自由連合協定
CROP	Council of Regional Organization in the Pacific	太平洋地域組織協議会
FAS	Free Association States	自由連合諸国
MPS	Micronesian Presidents' Summit	ミクロネシア大統領サミット
MSG	Melanesian Spearhead Group	メラネシア・スピアヘッド・グループ
PACER	Pacific Agreement on Closer Economic Relations	太平洋経済緊密化協定
PALM	Pacific Islands Leaders Meeting	太平洋・島サミット（日本・太平洋諸島フォーラム首脳会議）
PALM	Pacific Australia Labour Mobility Scheme	太平洋オーストラリア労働移動制度
PICL	Pacific Islands Conference of Leaders	太平洋諸島リーダーズ・コンファレンス
PICTA	Pacific Island Countries Trade Agreement	太平洋島嶼諸国貿易協定
PIDF	Pacific Islands Development Plan	太平洋諸島開発計画
PIF	Pacific Islands Forum	太平洋諸島フォーラム
PLG	Polynesian Leaders Group	ポリネシア・リーダーズ・グループ
PREP	Pacific Regional Environment Programme	太平洋地域環境計画
PSWP	Pacific Seasonal Worker Pilot Scheme	太平洋季節労働者試験の制度
RSE	Recognized Seasonal Employer Scheme	認定季節雇用者制度
SPC	South Pacific Commission	南太平洋委員会
SPF	South Pacific Forum	南太平洋フォーラム
SPTO	Pacific Tourism Organization	
SWP	Seasonal Worker Programme	季節労働者プログラム
UNDESA	United Nations Department of Economic and Social Affairs	国連経済社会局
USP	University of the South Pacific	南太平洋大学

索引

人名

グレッグ・アーヴィン (Greg Urwin) 47
ウルカララ・ラバカ・アタ王子 (Prince 'Ulukalala Lavaka Ata) 162
ゴフ・ウィットラム (Gough Whitlam) 98
タウアイカ・ウタアトゥ准将 (Brigadier General Tau'aika 'Uta'atu) 163
ピーター・オニール (Peter O'Neill) 44-45, 49-50
アマタ・カブア (Amata Kabua) 8, 45
デイヴィッド・カブア (David Kabua) 49, 51
ピーター・クリスチャン (Peter Christian) 49, 51
グレッグ・フライ (Greg Fry) 38, 69, 90
フィル・ゴフ (Phil Goff) 79
ジェラルド・ザキオス (Gerald Zackios) 37-38
エネレ・ソポアング (Enele Sopoaga) 44, 49-50
マイケル・ソマレ (Michael Somare) 45, 78
イエレミア・タブアイ (Jeremia Tabai) 47
トケ・タランギ (Toke Talagi) 44, 49-50
メグ・テイラー (Meg Taylor) 37, 47
サーロテ・ルベバウウ・トゥイタ (Salote Lupepau'u Tuita) 163
エメリネ・トゥイタ (Emeline Tuita) 163
リトクワ・トメイン (Litokwa Tomeing) 56
アノテ・トン (Anoté Tong) 44, 49-50
クニヲ・ナカムラ (Kuniwo Nakamura) 45
カウセア・ナタノ (Kausea Natano) 49-51
ケサイ・ノート (Kessai Hesa Note) 8
ヒルダ・ハイネ (Hilda Heine) 49, 51
ジョン・ハワード (John Howard) 22, 78
デイヴィッド・パニユエロ (David Panuelo) 49, 51
アーサー・フィリップ (Aruthur Phillip) 97
ヘンリー・プナ (Henry Puna) 37-38, 44, 47, 49
アキリシ・ポヒヴァ (Samiuela 'Akilisi Pōhiva) 20, 49, 162, 167
ターネス・マーマウ (Taneti Maamau) 49, 57
カミセセ・マラ (Ratu Sir Kamisese Mara) 6, 45
リチャード・マル (Richard Maru) 81
カラフィ・モアラ (Kalafi Moala) 169
マニー・モリ (Manny Mori) 44, 51
スコット・モリソン (Scott Morrison) 50
シティベニ・ランプカ (Sitiveni Rabuka) 52
トーマス(トミー)・レメンゲサウJr. (Thomas Remengesau, Jr.) 44-45, 49-50

パロン・ワンガ (Baron Waqa) 44, 49-50
トランスフォーム・アコラウ (Transform Aqorau) 57
アンソニー・アルバニージー (Anthony Albanese) 91
ジェームズ・クック (James Cook) 21, 97
トゥイロマ・スレイド (Tuiloma Neroni Slade) 37, 47
タウファアハウ・トゥポウ四世 (King Tuafa'ahau Tupou IV) 162
トゥポウトア皇太子 (Crown Prince Tupouto'a) 162
ジョサイア・バイニマラマ (Josaiā Bainimarama) 44, 48-49, 51-52
サローテ・マフィレオ・ピロレブ・トゥイタ王女 (Princess Salote Mafile'o Pilelevu Tuita) 162
トゥイラエパ・マリエレガオイ (Tuilaepa Malielegaoi) 44-45, 49
パレニティナ・ランガオイ (Palenitina Langa'oi) 162

あ行

アメリカ i-ii, 1, 3-5, 7-8, 10-12, 16-18, 20, 22-23, 26-30, 33-34, 39, 41-42, 54, 64, 123-145, 150-151, 155-156, 159, 161-162, 171, 179-190, 192-201, 203, 207-211, 215-219, 224-225, 230-231
アメリカ領サモア 25, 127-129, 135-138, 143, 180, 216, 220-225, 228-233
ANZUS 4, 6, 11
イギリス 3-4, 6-8, 11, 18, 27-28, 30, 61-62, 95, 97-98, 128, 153, 155, 162, 224-225, 230-231
インド 3, 10-11, 21, 22, 42-43, 97, 100, 107, 155, 157, 171, 216, 224-225, 230-233
英連邦 4, 6-9, 62, 155
オーストラリア i-ii, 1, 3-4, 6-7, 10-12, 16, 18-19, 22, 25-27, 29-30, 32-33, 38, 41, 43, 45, 47-48, 50, 52-55, 57-58, 61-64, 69-71, 73-86, 89-91, 95-110, 118-121, 150-153, 155, 159, 161-162, 179-180, 215, 217, 219, 222-225, 228-233
オールドカマー 14, 85-86, 90

か行

帰化 23-24, 26-27, 151, 153, 159-161, 184, 186, 188-189, 194, 196, 198-200, 208-211
 クック諸島 i, 17, 19-20, 25, 37, 44, 47, 49, 53, 71-73, 107-108, 151, 217, 220-225, 228-233
 国籍 22, 24, 27, 99, 151, 153, 157, 159-160, 172-174, 194

さ行

サーキュラー・マイグレーション 76, 84, 87, 89
 サモア iv, 3, 5, 18-21, 25, 28, 33, 37, 41-42, 45, 47, 49-50, 53, 71-73, 76-77, 82-83, 85, 87-88, 104, 107-120, 216, 220-233
 市民権 17, 25-28, 34, 72, 104, 125, 128-129, 131, 143, 159, 182-183, 185-186, 188-190, 194-197, 199-200, 207-208, 210
 自由連合 7-8, 16-23, 25, 30, 33-34, 54, 72, 123-124, 126-127, 141, 145, 181, 186, 196, 207, 210, 217
 送金 1, 34, 62-63, 83, 104, 150-151, 217, 226-227
 ソロモン諸島 iv, 3, 9, 11-13, 18, 22, 42, 47-49, 51, 53, 57, 76-77, 91, 101, 104, 108, 119, 161, 180, 220-233

た行

太平洋オーストラリア労働移動制度 (PALM) 77, 91
 太平洋経済緊密化協定 (PACER) 28, 79-81
 太平洋・島サミット (PALM) 42-44, 47-49, 51
 太平洋諸島信託統治領 7, 16, 25, 30, 129, 200, 203
 太平洋諸島フォーラム (PIF) 6-11, 13-14, 28-29, 31-32, 37-65, 69, 78-79, 161
 太平洋島嶼諸国貿易協定 (PICTA) 28, 79
 台湾 9-11, 42-43, 51, 57, 161-164, 201
 タヒチ iv, 3, 21, 108
 中国 (中国人を含む) i, 1, 9-14, 23, 26, 30-31, 33-34, 42-43, 45, 51-52, 90-91, 97, 100, 102, 126, 149-150, 157-175, 179, 182, 184, 187-189, 193, 198, 200-201, 215, 217-218, 230-231
 トンガ iv, 3-4, 18-21, 33-34, 41, 44, 49, 53, 62, 72-73, 76, 83, 85-86, 96, 104, 107-120, 149-173, 216, 220-229, 232-233
 ドイツ 3-4, 16, 128-129, 153, 192, 195

な行

ニウエ iv, 25, 44, 49-50, 53, 71-73, 108, 151, 217, 220-225, 228-229, 232-233
 ニューカマー 14
 ニューカレドニア 9, 16, 53, 101, 108, 216-217, 220-225, 228-229, 232-233
 ニューゼaland i, 1, 3-4, 6-7, 10, 12, 16-20, 25, 27-28, 30, 32, 34, 38, 41, 43, 48, 53-55, 57-58, 61, 63-64, 69-76, 78-86, 89-91, 104, 110, 150-153, 155, 159, 161-162, 165, 172, 179-180, 215, 217, 219-225, 228-233

は行

白豪主義 19, 26, 33, 78, 95, 98, 102-104, 119
 パプアニューギニア i, iv, 5, 9-13, 22, 37-38, 41-42, 44-45, 47, 49-50, 53, 55, 73, 76, 78, 82, 101, 104, 107-109, 119, 150, 180, 220-229, 232-233
 ビザ 2, 24, 72, 74, 90-91, 98, 151-152, 158-159, 161, 163, 171, 186-187, 194, 198-199, 206-207
 フィジー i, iv, 3-4, 6, 11, 18, 20, 22, 28, 38, 44-45, 47-49, 51-54, 58, 61, 64, 73, 76-77, 82, 96, 101, 104, 106-119, 155, 157, 171, 216, 220-233
 仏領ポリネシア iv, 3, 16, 53, 217, 220-225, 228-233
 ポリネシア 3, 16, 18-19, 32-33, 37, 41, 44, 48-50, 52-54, 64, 69, 71-74, 85, 96, 101, 104-114, 117, 119, 149, 151, 161, 218-229, 232-233

ま行

ミクロネシア連邦 iv, 7, 16, 23, 25, 37, 44, 49, 53, 123, 126, 180-182, 196, 200, 220-233
 南太平洋フォーラム (SPF) 6-9, 43, 46-47, 69
 メラネシア 9, 13-14, 18, 37, 41, 44-45, 48-49, 52-53, 63-64, 69, 101, 103-109, 118-119, 161, 216, 218-223, 224-225, 228-233
 メラネシア・スピアヘッド・グループ (MSG) 52-53

執筆者一覧

くろさきたけひろ

黒崎岳大 (序章, 第1章)

東海大学観光学部 准教授

いまいづみしんや

今泉慎也 (序章, 第4章, 第6章, 資料)

アジア経済研究所 新領域研究センター・グローバル研究グループ長

おがしわようこ

小柏葉子 (第2章)

広島大学大学院人間社会科学研究所 教授

せがわのりゆき

畝川憲之 (第3章)

近畿大学国際学部 教授

きたはらたくや

北原卓也 (第5章)

早稲田大学人間科学学術院 人間総合研究センター 招聘研究員

ちばな

知花いつみ (第6章)

アジア経済研究所 バンコク事務所 (バンコク研究センター) 研究員

—執筆順, 所属は刊行時—

移民たちの太平洋
——太平洋諸島をめぐる人の移動と国際制度——

EPUB版 2023年3月24日発行
オンデマンド版 2023年3月31日発行

編者 黒崎岳大・今泉慎也
発行 独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所
〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2
(電話) 043-299-9735

ISBN 978-4-258-046560

©Takehiro Kurosaki, Sinya Imaizumi, Izumi Chibana and IDE-JETRO 2023



IDE-JETRO



9 784258 046560